

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場でございます。

初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれます。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

小クワガタ

小さいけれどかずいるよ

平塚市立富士見小学校 西海 伸哉

今月の短歌

まだ枝にぶらさがっていると
十八個の柿ひもで揺れながら

山口県光市立光井小学校 横道 玄

季節は「小クワガタ」。「鍬形虫」は夏の季節。「兜虫」と並んで人気のある昆虫だ。ナラやクヌギの樹液を好んで集まってくるのも共通している。「小クワガタ」は「オオクワガタ」に較べてやや小型と言われているが、それでも充分逞しい。一句の良いところは「小さいけれどかずいるよ」という、いかにも友達や家の人に報告している口調そのもので、一句が出来ているところ。俳句は物事を説明するのではなく、出来るだけ見えた通り、聞こえた通りに表現するものである。

(鳴立庵主 本井 英)

干し柿作りの光景です。むいた柿をひもにくくり付け、軒下など雨の当たらない風通しの良いところに干します。枝にぶら下がったように見えるのは、干してまだ日がたっていないからでしょう。作者の家の庭、あるいは近所に柿の木があって、日ごろから実がついた、ふくらんできた、色づいた、なんていう変化にも気づいたことでしょうか。というのには、「枝にぶら下がっている気なんだ」と作者は柿の実に心になっっているからです。その柿に寄せる親しさが、柿も私たちも生きている仲間なんだと思わせてくれるのです。

(西行祭選者 柳 宣宏)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 定員 対象 講師

講座名	日程	時間	備考
寄席	2月10日(土)	開場13:00 開演13:30	演目 うどん屋・近日息子・宿屋の仇討 演者 二代目 桂三十助 初代 桂三十助 三笑亭空巢 定 30人 費 800円(入庵料込)
座禅	2月17日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定 10人 費 500円(入庵料込)
伝筆	2月25日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定 10人 費 3,850円(材料費込)
花の会	2月28日(水)	14:00~16:00	ひな祭りの生花アレンジ 講 府川 葉月氏 定 18人 費 2,500円(入庵料込) 持 はさみ、タオル、持ち帰り袋
茶と遊ぶ	3月2日(土)	10:00~正午	植物性ミルクを使ったミルクティを楽しもう 講 高野 幸代氏 定 12人 費 3,000円(お茶菓子付き、入庵料込)

問 大磯町商工会 ☎(61)0871



芦川酒店(大磯)
大磯のあまざけ



芦川酒店(大磯)
大磯米焼酎 はるみ



柳嶋屋(大磯)
東海道大磯宿

「めいどいんおおいそ」
登録産品紹介コーナー

ご当地登録産品
OISO
Made in OISO